

独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所
令和2年度 第1回研究倫理審査委員会(安全分野) 議事要旨

開催日時:2021年2月18日(木)15時00分~17時00分

開催場所:オンラインでの開催

事務局:労働安全衛生総合研究所(清瀬地区)機械安全システム実験棟2階会議室

出席者:酒井一博委員長、畠中順子委員、松原健一委員、櫻井忠義委員、(以上、外部委員)、日野泰道委員、八島正明委員、北條理恵子委員(以上内部委員)

オブザーバー:梅崎重夫所長

事務局:池田博康、高橋明子(筆責)

1. 開会挨拶

2. 利益相反7件の確認結果、および自己申告書の確認結果の報告

委員長と事務局により、利益相反申請案件7件(受付番号 R2-R1:「建設現場における建設工事従事者を対象とする新たな安全衛生確保のための制度構築に資する研究(平岡伸隆)」、受付番号 R2-B2:「労働安全衛生法の改正に向けた法学的視点からの調査研究(吉川直孝)」、受付番号 R2-B3:「建設工事における安全衛生の確保のための設計段階の措置の確立に向けた研究(吉川直孝)」、受付番号 R2-B4:「国際的な防爆規制に対する整合性確保のための調査研究(大塚輝人)」、受付番号 R2-B5:「機械設備に係るリスクアセスメント支援システムの開発(齋藤剛)」、受付番号 R2-B6:「作業経験の異なる建設作業者のリスク回避の認知過程に関する特性分析とリスク回避行動促進のための支援デバイスの検討(高橋明子)」、受付番号 R2-B7:「製造現場におけるIoTを活用した安全管理システムに関する研究(北條理恵子)」)について、「利益相反の審査と管理に該当しない」ことを申請したものであることを確認した。また、清瀬地区研究員が提出した利益相反自己申告書についても「利益相反の審査と管理に該当しない」ことを確認した。以上の確認結果を報告し、異議はなかった。

3. 迅速審査2年件の審査結果の承認

今年度実施した迅速審査2件(受付番号 R2-安 1:「安全管理者を対象としたハザード知覚スキル向上のための安全対策に関するグループインタビュー調査(高橋明子)」、受付番号 R2-安 2:「作業姿勢の違いにおける足の踏み出しやすさの評価と転倒リスクの検討(菅間敦)」の研究概要と審査結果について説明し、2件ともに「条件付きで承認」されたことを報告して、異議なく承認された。

4. 新規申請1件の審査

新規申請が1件あり、審査を行った。その結果、「条件付き承認」となった。

受付番号 R2-安 3:「作業員への影響を考慮したICT機器活用におけるリスク低減効果の検証(北條理恵子)」

申請内容について下記の通り審査結果がまとめられ、以下の指摘に対応するという条件付きで、全員一致で本申請を承認することとなった。

- (1) I-1: 研究対象者選択の方針、基準:可能であれば、募集する研究対象者の年齢層のばらつきや年齢別労働災害発生状況を考慮して選択すること。また、募集の除外条件(COVID-19に罹患している人等)を定

めておくこと。

- (2) I-4: 研究方法: 研究対象者の着衣の指定があれば指示しておくことと、実験途中での休憩も配慮しておくこと(研究対象者への添付資料も同様)。また、研究対象者に ICT 機器を装着する実験者の性別を配慮しておくこと。
- (3) II-3,4,5: 予測されるリスクと対策: COVID-19 への対応について、研究対象者への体温測定等の事前指示や実験当日の健康状態の記録(実験者も含む)、感染者が出た場合の対処などを整理して準備しておくこと。また、添付資料 1 は発熱外来のある医療機関を記載すること。なお、COVID-19 への対応は研究所全体のルールに従うことが必要であるため、添付資料 5-1 については記載内容の改訂を研究所に依頼する。
- (4) VII-2: 添付書類: 研究対象者へ実験内容(具体的な作業内容等)が伝わるように説明を工夫すること(添付資料 1,2,3)。

5. 委員長総括

以上